

岡山市(岡山県)の一体的実施

平成25年 2月1日事業開始(福祉ジョブ・サポート・スペース岡山)
平成25年10月1日事業開始(福祉ジョブ・サポート・スペース岡山南)

北区中央福祉事務所施設内に「福祉ジョブ・サポート・スペース岡山」(愛称: ジョブ・サポ岡山)、南区南福祉事務所内に「福祉ジョブ・サポート・スペース岡山南」(愛称: ジョブ・サポ岡山南)を開設し、生活保護受給者等に対する早期就職支援を市とハローワークが一体的に実施(福祉事務所内実施は県内初)

市

福祉サービス、生活相談



国

職業相談、職業紹介

① 事業内容

- ・市とハローワーク岡山の双方の担当で構成される「就労支援チーム」を設置し、綿密な支援が必要な支援対象者ごとに、支援プランを作成する。
- ・担当者制(マンツーマン)により、策定したプランの進捗管理を行い、個々に選定した支援メニュー(職業相談・紹介、カウンセリング、職業訓練メニューの提供・相談等)を実施する。

② 協定・事業計画

- ・岡山市長と岡山労働局長の間で協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を岡山市と岡山労働局の間で策定

* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定

③ 実施協議会

- ・岡山市職員(福祉事務所所長を含む)、岡山労働局職員、ハローワーク岡山職員等をメンバーとする運営協議会を設置

岡山市と国の緊密な相互連携と協働により、生活保護受給者等支援対象者の就職による早期自立の実現を図る。

(1) 実施体制

岡山市

福祉ジョブ・サポート・スペース岡山

- ・ 自立支援員(嘱託) 2名

福祉ジョブ・サポート・スペース岡山南

- ・ 就労支援相談員(嘱託) 2名

国(ハローワーク)

福祉ジョブ・サポート・スペース岡山

- ・ 就職支援ナビゲーター 2名、職業相談員 1名
- ・ 求人情報提供端末 3台、職業紹介端末 3台 配置

福祉ジョブ・サポート・スペース岡山南

- ・ 就職支援ナビゲーター 2名
- ・ 職業紹介端末 2台 26年2月配置予定

(2) 事業目標と取組状況

	25年度事業目標	取組状況(25年10月末時点)
生活保護受給者	○支援対象者数 295人 ○就職率 50%	○支援対象者数 98人
	(参考)24年度事業目標(25年2月~3月) ・支援対象者数 34人 ・就職率 60%	(参考)24年度取組状況(25年2月~3月) ・支援対象者数 79人 ・就職率 15.2%
児童扶養手当受給者	○支援対象者数 55人 ○就職率 50%	○支援対象者数 4人
	(参考)24年度事業目標(25年2月~3月) ・支援対象者数 4人 ・就職率 60%	(参考)24年度取組状況(25年2月~3月) ・支援対象者数 2人 ・就職率 0.0%
住宅支援給付受給者	○支援対象者数 40人 ○就職率 50%	○支援対象者数 10人
	(参考)24年度事業目標(25年2月~3月) ・支援対象者数 7人 ・就職率 60%	(参考)24年度取組状況(25年2月~3月) ・支援対象者数 4人 ・就職率 50.0%
合 計	○支援対象者数 390人 ○就職率 50%	○支援対象者数 112人
	(参考)24年度事業目標(25年2月~3月) ・支援対象者数 45人 ・就職率 60%	(参考)24年度取組状況(25年2月~3月) ・支援対象者数 85人 ・就職率 16.5%

(注)支援プランを用いたチーム支援は、24年度に支援プランの対象となった利用者が、年度を越えて継続して支援を受ける場合があるため、「取組状況(25年3月末時点)」における就職者数・就職率については確定値ではない。

24年度実績については「福祉ジョブ・サポート・スペース岡山」のみの実績。



岡山市における一体的実施について 岡山市長 大森 雅夫

人口総数 704,025人
(H25.9末現在)



本市では、平成25年2月に、本市の福祉施策とハローワーク岡山の就職支援施策を一体的に実施するワンストップサービスの窓口「福祉ジョブ・サポート・スペース岡山」を北区中央福祉事務所に併設し、福祉から就労まで一貫した支援を行っております。

これにより、福祉や就労に関する相談はもとより、職業相談や職業紹介、ハローワークの就職支援ナビゲーターによる支援等の幅広くきめ細かな対応が可能となり、長期離職者の就職をはじめとした着実な成果を挙げております。続いて、平成25年10月には、市内2箇所目の施設となる「福祉ジョブ・サポート・スペース岡山南」を南区南福祉事務所内に開設いたしました。

本市における保護世帯数・受給者数は依然増加傾向にあり、就労可能な人への早期かつ効果的な支援が喫緊の課題となる中、2つの「福祉ジョブ・サポート・スペース」における福祉と就労の一体的支援の取組が自立の促進に大きく寄与するものと期待しております。

本市としましては、今後とも、ハローワーク岡山と緊密に連携し、生活保護受給者、児童扶養手当受給者、住宅支援給付受給者等に対して相談時からの早期の就職支援を行うことで、生活の安定と自立を支援してまいります。

一体的実施事業による就職成功例

20歳代女性 住宅支援給付受給者

希望職種：一般事務

○ 抱える課題

- ・高校卒業後、アルバイト就労のみで就労経験も少ない。
- ・ニートの状態が長いため、生活も不規則になっている。

○ 支援内容・ポイント・経過

- ・給与面だけで応募を決めているため、自己理解・職業理解をしたうえで応募先を決めること、また、将来のキャリアプランを見据え就労活動をするを再三助言。
- ・少しハードルの高い求人への応募が続き不採用が続いたが、当面は本人が選択した求人と情報提供した求人との両面での応募を続けた。
- ・書類選者が多いため、応募書類の書き方のアドバイスをを行い、また応募先にあわせた面接指導も行った。

○ 結果

- ・支援期間約3か月、応募求人8件目で採用決定。
【職種：営業販売】

○ ハローワークの担当者の所感

- ・正社員かつ高給与の求人への応募が続きハードルを下げることも考慮したが、本人の意思を尊重し応募を見守ることにより希望条件の求人へ採用され、本人が希望していた結果に至った。
- ・8月中旬に就職するという目標を立て、双方で計画を立てアプローチすることができた。

39歳代女性 生活保護受給者（母子家庭の母）

希望職種：製造・接客・販売

○ 抱える課題

- ・前向きでまじめな性格であるが協調性に不安な面もあり人間関係で退職することが多い。
- ・子供の素行に問題があり、子供の帰宅時間や学校休業日には家にいてやりたいとの思いがある。

○ 支援内容・ポイント・経過

- ・今までの就労経験で本人の一番得意なことを尋ねると「調理」という返答だったので、それを就労に活かすことを提案した。
- ・得意なことを活かすことにより本人の心に余裕ができ、人間関係でのトラブルも回避できる可能性が高くなると考えた。
- ・面接のポイントについてアドバイスをを行った。

○ 結果

- ・支援期間約3か月、応募求人4件目で採用決定。
【職種：給食調理】

○ ハローワークの担当者の所感

- ・子供と二人で一日も早い自立を希望、その熱心さゆえにどんな求人にも応募しようとする積極性があだになり退職を繰り返していることを気づきとして、得意なことを整理して就職活動を進めることができた。